

## さかしたの仕事 No.1 (研究業績目録、20210401 現在)

### . 著書

- 1. 著書・共著書・編著書
- 2. 共著書 [ 分担執筆 ]

### . 論文

- 1. 学術論文
- 2. その他の論文
- 3. 書評 (コメンテーター)

### . 招待講演・プロシーディング

- 1. 招待講演 (座長解題)
- 2. プロシーディング

### . 報告書

### . 雑誌論文など

## 著書

### - 1 . 著書・共著書・編著書

- 1 . 坂下明彦 『中農層形成の論理と形態 - 北海道型産業組合の形成基盤』御茶の水書房、1992、358 頁  
書評 1 . 玉真之介：『農林水産図書資料月報』1992.6  
2 . 石川義秋：『農業経済研究』第 64 卷 3 号、pp.173-174、1992  
3 . 加瀬和俊：『日本史研究』369 号、pp.93-99、1993  
4 . 野田公夫：『土地制度史学』140 号、pp.63-65、1993  
5 . 田畑 保：『農業経営研究』32 卷 1 号、pp.46-48、1994  
6 . 齋藤 仁：『社会経済史学』第 59 卷第 4 号、pp.564-566、1993  
7 . 牛山敬二：博士論文審査意見、1989.12.18  
8 . 坂下明彦：黒田日出男他編『日本史文献辞典』弘文堂、pp.521-522、2003
- 2 . 牛山敬二・七戸長生編著『経済構造調整下の北海道農業』北大図書刊行会、1991  
坂下明彦「北海道の農業集落形成の特質と類型」pp.128-137  
坂下明彦「「開発型」農協の総合的事業展開とその背景」pp.207-216  
中原准一・坂下明彦「大規模草地開発と交換分合」pp.313-322  
書評 1 . 磯田 宏：『農業経済研究』63 卷 4 号、pp.260-261、1992  
2 . 田畑 保：『土地制度史学』36 卷 1 号、pp.72-74、1993  
3 . 小林恒夫：『市立名寄短期大学紀要』第 25 号、pp.58-66、1993
- 3 . 坂下明彦・田淵直子『農協生産指導事業の地域的展開 - 北海道生産連史』北海道協同組合通信社、1995、265 頁  
書評 幸健一郎：『北海道農業経済研究』7 卷 1 号、pp.55-58、1998
- 4 . 朴紅・坂下明彦『中国東北における家族経営の再生と農村組織化』御茶の水書房、1999、334 頁(日本農業経済学会奨励賞(朴))  
書評 1 . 盛田清秀『農業経営研究』37 卷 3 号、pp.76-77、1999  
2 . 伊藤忠雄『農業経済研究』71 卷 3 号、pp.171-72、1999  
3 . 陸麗君『村落社会研究』№13、pp.56-57、2000  
4 . 朴紅「成果紹介」『農業経営通信』201 号、pp.36-39、1999
- 5 . 谷本一志・坂下明彦編著『北海道の農地問題』筑波書房、1999、335 頁  
書評 1 . 寺本千名夫：『北海道農業経済研究』9 卷 1 号、pp.46-49、2000  
2 . 田畑保：『農業・農協問題研究』25 号、pp.76-80、2001
- 6 . 土幌農協研究会『土幌農協 70 年の検証 - 農村ユートピアを求めて - 』北海道協同組合通信社、2004、635 頁
- 7 . 坂爪浩史・朴紅・坂下明彦編著『中国野菜企業の輸出戦略 - 残留農薬事件の衝撃と克服過程 - 』筑波書房、2006、191 頁(日本農業市場学会賞(日本農業市場学会)2009 年)  
書評 1 . 森高正博『農業市場研究』15 卷 2 号、pp.161-162、2006  
2 . 佐藤和憲『農業と経済』2007 年 3 月号、p.73、2007  
3 . 大島一二『農業経済研究』78 卷 4 号、pp.197-198、2007  
4 . 石塚哉史『中国研究月報』61 卷 1 号、pp.44-45、2007  
5 . 岸上光克『農業・農協問題研究』37 号、pp.55-57、2007  
6 . 細野謙治『農業経済論集』57 卷 2 号、pp.41-44、2007
- 8 . 岩崎徹・牛山敬二『北海道農業の地帯構成と構造変動』北海道大学出版会、2006  
坂下明彦「地帯構成とその形成要因」(1 章)、pp.31-80  
坂下明彦「水田型地帯 - 石狩川流域農業」(2 章 1 節) pp.81-94  
坂下明彦「下流域における農業構造の変動」(3 章 2 節) pp.154-167  
坂下明彦・小山良太「農協による地域営農システムの展開」(3 章 6 節 3) pp.224-234  
岩崎徹・長尾正克・坂下明彦「北海道農業の到達点と課題」(終章 2 節) pp.471-495

- 書評 1 . 黒瀧 秀久 : 『農業問題研究』 63 号、pp.40-46、2008  
2 . 吉岡 徹 : 『フロンティア農業経済研究』 15 巻 1 号、pp.108-111、2010
- 9 . 坂下明彦編『地域農業の底力 - 農協の可能性を拓く支援システム』北海道協同組合通信社、2009、152 頁
- 10 . 坂下明彦・李炳旻『日韓地域農業論への接近』筑波書房、2013、273 頁  
( 江原日報社、2013 )
- 書評 1 . 品川優『農業・農協問題研究』 54 号、2014、pp.36-38  
2 . 松木靖『地域と農業』 91 号、2013、pp.25-28
- 11 . 坂下明彦・小林国治・正木卓・高橋祥世『総合農協のレーゾンデートル』筑波書房、2016、128 頁  
書評 北川太一『農業と経済』 83 巻 3 号、2013.03、p.128
- 12 . 坂下明彦・朴紅・小林国治・申鍊鐵・高慧琛編著『協同組合研究のヌーベルバーグ』筑波書房、2020、268 頁  
書評 小池 恒男『農業・農協問題研究』 72 号、2020、pp.57-59

## - 2 . 共著書 [ 分担執筆 ]

- 13 . 玉真之介・坂下明彦「北海道農法の成立過程」桑原真人編『北海道の研究 6 巻』清文堂、1983、pp.44-85
- 14 . 坂下明彦「北海道における農業金融の特質」飯島源次郎編『転換期の協同組合』筑波書房、1991、pp.373-384
- 15 . 坂下明彦「カミオンカ部落の農業構造、調査農家の経営分析」吉野悦雄編著『ポーランド農業の基礎構造』木鐸社、1993、pp.366-406
- 16 . 坂下明彦「大規模稲作地帯における問題発現の構図」臼井晋編著『大規模稲作地帯の農業再編 - 展開過程とその帰結』北大図書刊行会、1994、pp.10-18
- 17 . 坂下明彦「石狩川流域開発における下流域の位置」臼井晋編著『大規模稲作地帯の農業再編 - 展開過程とその帰結』北大図書刊行会、1994、pp.19-35
- 18 . 坂下明彦・仁平恒夫「下流域内部の格差構造と戦後開拓」臼井晋編著『大規模稲作地帯の農業再編 - 展開過程とその帰結』北大図書刊行会、1994、pp.35-57
- 19 . 坂下明彦「「開発型」農協の事業構造変化」臼井晋編著『大規模稲作地帯の農業再編 - 展開過程とその帰結』北大図書刊行会、1994、pp.113-128
- 20 . 坂下明彦「札幌の農業、札幌の畜産と酪農」『新札幌市史』第三巻、北海道新聞社、1994、pp.255-286
- 21 . 坂下明彦「北海道稲作の立地構造と担い手の類型的把握」永田恵十郎・波多野忠雄編著『土地利用型農業の再構築と農協』農山漁村文化協会、1999、pp.265-284
- 22 . 坂下明彦「農業団体からみた日本農業史」太田原高昭・三島徳三・出村克彦編『農業経済学への招待』日本経済評論社、1999、pp.136-154
- 23 . 坂下明彦「北海道における農業近代化政策の受容構造 - 農業地帯構成論の視角から - 」日本村落研究学会編『日本農業・農村の史的展開と農政』農山漁村文化協会、2001、pp.109-131
- 24 . 坂下明彦「農業 ( 第 2 章 ) 」大沼盛男編著『北海道産業史』北海道大学図書刊行会、2002、pp.43-62
- 25 . 坂下明彦「友ずれの思想 - 佐伯利彦と洞爺村農協」太田原高昭・中嶋信編著『協同組合運動のエトス - 北の群像 - 』北海道協同組合通信社、2003、pp.64-86
- 26 . 坂下明彦・朴紅「中国国有農場と稲作職工農家」村田武編『再編下の家族農業経営と農協 - 先進国輸出国とアジア - 』筑波書房、2004、pp.177-207
- 27 . 坂下明彦「大規模水田地帯の地域農業再編 - 北海道長沼町・南幌町」田代洋一編『日本農業の主体形成』筑波書房、2004、pp.93-122
- 28 . 坂下明彦「日本農協業務的総合性と専門性」( 日本の農協の総合性と専門性 ) 段応碧『社会主義新農村建設研究』中国農業出版社 ( 中文 ) 2007 年、pp.612-619
- 29 . 坂下明彦「北海道の農協営農指導事業と地域農業支援システム」田代洋一編著『協同組合としての農協』筑波書房、2009、pp.51-73
- 30 . 坂下明彦「北海道十勝畑作地帯の農業展開と集落構造 - 更別村旭集落小史 - 」大鎌邦雄編著『日本とアジアの農業集落 - 組織と機能』清文堂出版、2009、pp.161-186
- 31 . 坂下明彦・李炳旻「韓国の農業経済学会の現状と課題」泉田洋一編著『ポリヴァレント化する農業・農村経済学とその総合化』農林統計出版、2013、pp.31-54

32. 坂下明彦「北海道農業経済学会の歩みと学会活動」泉田洋一編著『ポリヴァレント化する農業・農村経済学とその総合化』農林統計出版、2013、pp.327-341
33. 坂下明彦「経済・生活活動からみた北海道の農事組合の性格 - 栗山町継立第一農事組合を対象として - 」柳村俊介・小内純子編著『北海道農村社会のゆくえ - 農事組合型農村社会の変容と近未来像』農林統計出版、2019、pp.17-46
34. 坂下明彦「総合農協の社会経済的機能 - 北海道の転換に注目して - 」田代洋一・田畑保編『食料・農業・農村の政策課題』筑波書房、2019、221-260

## 論文

### - 1 . 学術論文

1. 坂下明彦「小作制大農場における村落形成の起点に関する一考察」『農経論叢』第37集、1981、pp.81-104
2. 坂下明彦「農村再編政策と農事実行組合」『農経論叢』第37集、1982、pp.175-202
3. 坂下明彦「農事実行組合理型」農村再編の展開構造」『農経論叢』第38集、1983、pp.129-151
4. 坂下明彦「戦間期北海道農業論の課題」『農経論叢』第40集、1984、pp.151-174
5. 坂下明彦「北海道における自作農創設政策の展開と特質」『農経論叢』第41集、1985、pp.23-49
6. 坂下明彦「十勝畑作地帯における農地市場の性格と中農層の形成」『農経論叢』第43集、1987、pp.1-23
7. 小野智昭・禹暎均・景山敬之・田淵直子・小寺収・坂下明彦・太田原高昭「北海道における広域合併農協に関する研究 - 第1報: 西胆振地区5農協の合併前夜」『農経論叢』第43集、1987、pp.103-124
8. 坂下明彦「戦間期産業組合聯合会の再編成問題」『農経論叢』第44集、1988、pp.55-74
9. 禹暎均・田淵直子・景山敬之・坂下明彦・太田原高昭・飯島源次郎「北海道における広域合併農協に関する研究 - 第2報: とうや湖農協の設立過程」『農経論叢』第44集、1988、pp.31-54
10. 坂下明彦「北海道における地主制と土功組合」『農経論叢』第45集、1989、pp.1-25
11. 田淵直子・景山敬之・渡辺克司・植田薫子・坂下明彦・太田原高昭・飯島源次郎「北海道における広域合併農協に関する研究 - 第3報: とうや湖農協の組織整備過程」『農経論叢』第45集、1989、pp.173-208
12. 坂下明彦「戦間期における北海道農業の地帯構成」『農経論叢』第46集、1990、pp.43-63
13. 坂下明彦・坂下浩史・佐々木悟・渡辺克司・植田薫子・田淵直子・太田原高昭・飯島源次郎「北海道における広域合併農協に関する研究 - 第4報: とうや湖農協における合併メリット」『農経論叢』第46集、1990、pp.219-244
14. 坂下明彦・吉野宣彦・坂下浩史・佐々木悟・板橋衛・北原克宣・佐藤信・渡辺克司・太田原高昭「北海道における広域合併農協に関する研究 - 第5報: とうや湖農協における営農指導体制」『農経論叢』第47集、1991、pp.163-191
15. 坂下明彦「北海道における土地改良区の組織と経営」『経済論集』(北海学園大学)39巻2号、1992、pp.73-87
16. 坂下明彦「ポーランドの農業構造と個人農の存在形態」『農業問題研究』34号、1992、pp.19-30
17. 李榮吉・板橋衛・坂下明彦・黒河功「韓国における農業経営展開と農協利用」『農経論叢』第50集、1994、pp.287-304
18. 朴紅・坂下明彦「中国東北部の農業構造と流通・金融組織の動向」『農経論叢』第51集、1995、pp.1-12
19. 坂下明彦・朴紅「人民公社解体後の個人農と農業諸団体の機能」『農経論叢』第51集、1995、pp.13-23
20. 板橋衛・李榮吉・坂下明彦「韓国における地域農業再編下の農協の与信機能」『農業経済研究』66巻4号、1995、pp.210-218
21. 坂下明彦・朴紅「現代中国東北における個人農経営の展開と土地保有調整」『農経論叢』第52集、1996、pp.159-168
22. 坂下明彦・朴紅「現代中国東北における個人農経営の展開と土地保有調整」『農業経済研究別冊 日本農業経済学会論文集 1996』1996、pp.208-213
23. 朴紅・坂下明彦「中国東北における稲作貧困地帯の農村と農民」『農経論叢』第52集、1996、pp.169-180
24. 坂下明彦「農政の新段階と農業組織再編 - 北海道水田地帯の農協の対応」『北海道農業経済研究』5巻2号、1996、pp.16-23
25. 坂下明彦「稲作の生産調整と農業構造変化 - 北海道の減反再強化の影響」『農業と経済』63巻2号、1997、pp.64-69
26. 坂下明彦・朴紅「中国東北農民の生産と経済 - 農家記帳調査の分析」『農経論叢』第53集、1997、pp.79-97
27. 朴紅・坂下明彦「中国東北における国営農場改革の特質」『農経論叢』第54集、1998、pp.87-100
28. 坂下明彦・小山良太・松本浩一・大塚教正・八重樫裕子・水野享子・朴紅・菅沼弘生・小林国治・禹暎均・太田原高昭「北海道における広域合併農協に関する研究 - 第6報: とうや湖農協10年の軌跡」『農経論叢』第54集、1998、pp.113-132

29. 坂下明彦「広域合併農協における地域農業振興の方向性」『農業と経済』64巻10号、1998、pp.14-21
30. 朴紅・坂下明彦・太田原高昭「中国における野菜産地形成と農村協同組合の機能」『農経論叢』第55集、1999、pp.1-13
31. 坂下明彦・朴紅・太田原高昭「台湾における郷村型農会の事業構造」『農経論叢』第56集、2000、pp.149-159
32. 山内哲人・小林国之・芦田敏文・宮入隆・新田義修・山田みちる・小池青伴・菅沼弘生・田中規子・趙相元・村井郁生・玉井邦佳・徐在完・朴紅・坂下明彦・太田原高昭「良質米・野菜複合産地における担い手の性格と農協営農事業の展開方向」『農経論叢』第56集、2000、pp.111-125
33. 朴紅・坂下明彦・ダー志剛・由田宏一「中国三江平原における国有農場の水田開発と稲作経営」『農経論叢』第57集、2001、pp.85-98
34. 黒河功・朴紅・坂下明彦「中国沿海部における農業合作社の展開と類型」『農経論叢』第57集、2001、pp.99-108
35. 糸山健介・坂下明彦・朴紅「韓国中山間地域における農業構造の特質」『農経論叢』第57集、2001、pp.109-120
36. 糸山健介・坂下明彦・朴紅「韓国中山間地域における農業構造とその再編 - 忠清北道青川面を対象に - 」『農業経済研究別冊 日本農業経済学会論文集 2001』2001、pp.230-232
37. 朴紅・坂下明彦・小野雅之・久野秀二・坂爪浩史・太田原高昭「中国輸出向け野菜加工企業における原料の集荷構造(1) 北海食品」『農経論叢』第58集、2002、pp.99-110
38. 坂下明彦・朴紅・小野雅之・西村直樹・黒河功・太田原高昭「中国輸出野菜産地における食品企業の産地組織化(2) 万福食品」『農経論叢』第58集、2002、pp.111-122
39. 糸山健介・坂下明彦・朴紅・宋春浩「韓国稲作地帯における大規模農家の存立条件と地域農業の特質」『農経論叢』第58集、2002、pp.85-98
40. Hong PARK, Tomohiro UCHIYAMA, Akihiko SAKASHITA "Three Generations on a Family Farm in Southwest England: A Case Study of Transfer and Developing Management" 『農経論叢』第59集、2003、pp.117-190
41. 朴紅・坂下明彦「「残留農薬パニック」後の中国輸出向け野菜加工企業の原料集荷構造の転換—山東省青島地域の食品企業の事例分析(3) 万福食品と北海食品」『農経論叢』第60集、2004、pp.55-65
42. 朴紅・坂下明彦「中国国有農場における畑作の双層経営システムと職工農家の展開 - 新華農場・第10生産隊の事例分析」『農経論叢』60集、2004、pp.67-77
43. 坂下明彦・朴紅・西村直樹「台湾嘉南平原における農家経営と土地利用 - 官田郷農会を対象として」『農経論叢』60集、2004、pp.79-87
44. 梁連文・朴紅・坂下明彦「台湾における郷村型農会の営農指導事業の展開—三星地区農会を事例として—」『農経論叢』60集、2004、pp.89-101
45. 糸山健介・坂下明彦・朴紅「韓国平場稲作地帯における上層農の形成と課題 - 全羅北道の事例」『農経論叢』60集、2004、pp.119-128
46. 糸山健介・坂下明彦・朴紅「韓国における大規模稲作農家の形成とその条件 - 全羅北道金提市を事例として - 」『2004年度日本農業経済学会論文集』2004、pp.356-359
47. 坂下明彦「中国における日本向け野菜開発輸入産地の再編と地域農業」『農村と都市をむすぶ』No.636、2004、pp.79-91
48. 坂下明彦「中国の農村経済組織の展開と竜頭企業による産地組織化」『農業・農協問題研究』第32号、2005、pp.66-85
49. 糸山健介・蘇淳烈・坂下明彦「植民地朝鮮における産業組合の一特質 - 不二農村産業組合を中心に - 」『農業経済研究』(韓国農業経済学会、ハングル)46巻4号、2005、pp.115-142
50. 坂下明彦「水田農業再編と農協営農指導 - 石狩川下流域の動向を中心に - 」『北海道農業経済学研究』12巻2号、2005、pp.26-37
51. 坂下明彦「農業近代化政策の受容と「農事実行組合理型」集落の機能変化 - 北海道深川市巴第5集落を対象に - 」『農業史研究』第40号、2006、pp.26-38
52. 坂下明彦・朴紅・市来正光「中国蘇南地域における農業生産システムの変化と土地問題 - 江村の追跡調査(1)」『農経論叢』62集、2006、pp.217-226
53. 朴紅・坂下明彦・市来正光「中国蘇南地域の農村工業化と就業構造 - 江村の追跡調査(2)」『農経論叢』62集、2006、pp.163-175

54. 朴紅・坂下明彦「中国輸出野菜産地における村民委員会組織型集荷構造の転換 - 山東省青島地区の食品企業の事例分析(4) 万福食品」『農経論叢』第63集、2008、pp.43-52
55. 坂下明彦・朴紅「中国輸出向け野菜加工企業における農場依存型酒家方式の展開 - 山東省青島地区の食品企業の事例分析(5) 北海食品」『農経論叢』第63集、2008、pp.53-69
56. 朴紅・市来正光・坂下明彦「中国蘇南地域における農家の就業構造の特質 - 第13組のモノグラフィー - 江村の追跡調査(3)」『農経論叢』第63集、2008、pp.71-84
57. 朴紅・張錦女・坂下明彦「中国三江平原における稲作経営の展開と機械化 - 新華農場第17生産隊の事例(その1)」『農経論叢』第64集、2009、pp.1-12
58. 朴紅・張錦女・坂下明彦「中国三江平原における稲作経営の労働過程と農家経済 - 新華農場第17生産隊の事例(その2)」『農経論叢』第64集、2009、pp.13-23
59. Hong Park, Lienwen Liang and Akihiko Sakashita, Paddy Field Development and Rice Farming Management of State Farms on the Sanjiang Plain, China, Journal of Rural Economics Special Issue 2009, 2009, pp.595-602
60. 朴紅・張錦女・坂下明彦「中国三江平原における水田開発の特質 - 国有農場の展開に着目して - 」『農経論叢』第65集、2010、pp.83-100
61. 朴紅・坂下明彦・姚富坤「中国蘇南地域における農地転用と農地調整 - 江村の追跡調査(4)」『農経論叢』第65集、2010、pp.117-130
62. 坂下明彦・朴紅・姚富坤「中国蘇南農村の家屋の変化と人口的背景 - 江村の追跡調査(5)」『農経論叢』第65集、2010、pp.131-141
63. Hong Park, Lienwen Liang and Akihiko Sakashita, Characteristics of Family Farm Management and the Farm Economy in Paddy Areas on the Sanjiang Plain, China, Journal of Rural Economics Special Issue 2010, 2010, pp.533-540
64. 朴紅・青柳斉・伊藤亮司・張錦女・坂下明彦「中国東北の有機栽培米の産地化と農民組織の形成 - 黒竜江省五常市の事例分析(2) - 」『農経論叢』第66集、2011、pp.61-69
65. 朴紅・坂下明彦・伊藤亮司・張錦女・青柳斉「中国東北の有機栽培米産地における生産基盤 - 黒竜江省五常市の事例分析(3) - 」『農経論叢』第66集、2011、pp.70-80
66. 坂下明彦・朴紅・申鍊鐵・禹暎均「ブルム学校を基点とした有機農業の展開と農村協同組合 - 韓国忠清南道洪城郡の事例 - 」『農経論叢』第66集、2011、pp.49-60
67. Hong Park, Akihiko Sakashita, Characteristics of Agricultural Development on the Sanjiang Plain-Case Study of Irrigation and Drainage Development of State Farm -, Journal of Agricultural Science and Technology, A 1, 2011, pp.751-763
68. Hong PARK, Akihiko SAKASHITA and Fukun YAO, Similarities and Differences: A Comparison Between "Family Properties" in Rural Japan and China Based on Fieldwork in Kaixiangong Village, Bijiao: China in Comparative Perspective Working Paper Series No1, 2011
69. 朴紅・坂下明彦・姚富坤「蘇南地域における農村工業の転換と雇用吸収力 - 江村の追跡調査(6)」『農経論叢』第67集、2012、pp.73-81
70. 朴紅・坂下明彦・姚富坤「蘇南地域における農村企業の展開と出稼ぎ労働者 - 江村の追跡調査(7)」『農経論叢』第67集、2012、pp.83-95
71. 中村正士・坂下明彦「タジキスタン農業の再編と農民組織の役割」『農経論叢』第67集、2012、pp.47-61
72. 大森隆・坂下明彦「鶏卵のフードシステムと系統農協の機能変化」『農経論叢』第67集、2012、pp.63-72
73. 朴紅・坂下明彦「大規模稲作地帯の形成と精米企業展開の特質 - 中国黒竜江省八五四農場を対象に - 」『農経論叢』第68集、2013、pp.107-116
74. 大森隆・坂下明彦「北海道における採卵養鶏業の経営分析」『フロンティア農業経済研究』17巻1号、2013、pp.38-47
75. 朴紅・坂下明彦「蘇南地域における郷村企業の発展・衰退と農村リーダーの変化 - 江村の追跡調査(8)」『農経論叢』第69集、2014、pp.95-104
76. 藤田久雄・棚橋知春・中村正士・小林国治・坂下明彦「県連主導型の農協事業体制と農協合併による一体化 - 鹿児島経済連のケーススタディ 独立系経済連の研究(2) - 」『農経論叢』第69集、2014、pp.29-41

77. 中山忠彦・正木卓・坂下明彦「会計事務所による農業経営の支援システム」『農経論叢』第 69 集、2014、pp. 55-61
78. Huichen Gao, Hong Park and Akihiko Sakashita, Development of Organic Farmers' Cooperatives in East China: A Case Study of Dai Village, Jurong City The, Japanese Journal of Rural Economics 17, 2014 , pp.92-97.
79. 吉本諭・近藤巧・坂下明彦「食卓自給率の試算 - 北海道の食卓から自給率を考える」『農経論叢』第 70 集、2015、pp.25-32
80. 大森隆・松本啓祐・坂下明彦「ホクレンによる養鶏団地の形成とその後の推移」『農経論叢』第 70 集、2015、pp.63-72
81. 藤田久雄・小林国之・棚橋知春・中村正士・坂下明彦「単協と県連の事業一体化と販売優位の経済事業改革 - 愛知経済連のケーススタディ 独立系経済連の研究(3) - 」『フロンティア農業経済研究』18 巻 2 号、2015、pp.27-38
82. 李雪蓮・朴紅・坂下明彦「中国東北地方における朝鮮族出稼ぎによる集落の農地移動調整」『フロンティア農業経済研究』19 巻 1 号、2016、pp.32-46
83. Hong Park, Hui Chen Gao and Akihiko Sakashita, Formation of Organic Rice Production Areas and Specialized Farmers Cooperatives in Northeast China-A Case Study of Wuchang City-,The Frontiers of Agricultural Economics, 19-1、2016 , pp.17-31
84. 坂下明彦・申錬鐵・朴紅・松木靖・禹暎均「韓国における高原野菜産地の特質 - 太白市の白菜団地を対象に - 」『農経論叢』第 71 集、2017、pp.29-38
85. 金丸大輔・正木卓・坂下明彦「北海道水田地帯における中山間地域等直接支払制度の運用と課題 - 栗山町を事例として - 」『農経論叢』第 71 集、2017、pp.1-10
86. 福澤萌・小林国之・坂下明彦「農作業ヘルパーの農業・農村への関わり方に関する一考察 - 北海道富良野市における就業者の属性と就業意向の分析から - 」『協同組合学研究』37 巻 2 号、2017、pp.60-68
87. 山本謙治・小林国之・坂下明彦「イギリスの倫理的消費の社会化過程におけるキャンペイナーの役割」『農業経済研究』88 巻 4 号、2017、pp.461-466
88. Huichen Gao, Hong Park and Akihiko Sakashita , Conventionalization of organic agriculture in China, A case study of Haobao Organic Agricultural Company in Yunnan Province, *The Japanese journal of Agricultural Economics*, Vol.19, 2017, pp.37-42
89. Cho Young-Jae, Sakashita Akihiko , Shin Dong-Cheol, A Study on the Recent Discussion and Policy Trends of Japan for the Development of Marginal Village Policy, Journal of The Korean Society of Rural Planning, Vol.24, No.1, 2018, pp.21-31
90. 黄盛壹・坂下明彦「韓国における農協連合マーケティング事業の展開と機能変化」『協同組合研究』38 巻 1 号、2018、pp.48-61
91. 黄盛壹・申錬鐵・朴紅・坂下明彦「韓国における多品目産地の農協連合販売事業の展開 - 全羅北道南原市を事例として」『農経論叢』第 72 集、2018、pp.45-54
92. 李雪蓮・朴紅・坂下明彦「韓国における労働力不足問題と外国人労働力の受入政策の展開 - 中国朝鮮族出稼ぎ労働者の就業を中心に」『農経論叢』第 72 集、2018、pp.55-66
93. 大森隆・長尾正克・坂下明彦「採卵養鶏部門における生産調整の実施とその帰結 - 北海道を中心に」『農経論叢』第 72 集、2018、pp.67-76
94. 朴紅・坂下明彦「中国海南省の国営農場における自営経済の展開 - 南浜農場の熱帯果樹と冬期野菜産地を事例に - 」『農経論叢』第 72 集、2018、pp.77-92
95. 高慧琛・李雪蓮・朴紅・坂下明彦「中国における持続可能な農業の展開」『農経論叢』第 72 集、2018、pp.101-115
96. 朴紅・坂下明彦「中国海南島における少数民族集落の職工農家の就業構造 - 国有南浜農場の黎族集落を対象として - 」『フロンティア農業経済研究』22 巻 2 号、2020、pp.1-13
97. 吉田成雄・坂下明彦「組合員と農協営農経済事業によるマーケティング - JA 甘楽富岡にみるインターナル・マーケティング - 」『協同組合研究』40 巻 2 号、2020、pp.40-46
98. 星野愛花里・坂下明彦「ホクレンによる都市型インショップの展開と供給組織の形成—月形新鮮組の事例から—」『農経論叢』第 74 集、2021、pp.57-67

99. 朴紅・坂下明彦「中国蘇南地域における内水面漁業・化繊織物業の企業的展開と農村金融」『農経論叢』第74集、2021、pp.119-132
100. 王鄢・朴紅・坂下明彦「中国蘇南農村における高齢者の生活と老親扶養の性格—開弦弓村を事例に—」『フロンティア農業経済研究』23巻1号、2021、in print
101. 坂下明彦「北海道農地開発協会とまぼろしの道農地開発公社 - 1954-55年の攻防—」『北海道史への扉』第2号、2021、pp.1-10

## - 2 . その他の論文

1. 飯澤理一郎・坂下明彦「道南良質米生産の危機の構造」『北海道農業』別冊、1983、pp.99-120
2. 坂下明彦・高杉直也「戦時期北海道農業研究会の活動とその性格」『北海道農業』No5、1984、pp.1-20
3. 坂下明彦「大規模稲作地帯の形成と農協事業構造の特質」『北海道農業』No8、1987、pp.83-96
4. 坂下明彦「大規模畑作地帯における農協の事業展開」『北海道農業』No9、1989、pp.140-146
5. 坂下明彦「大規模畑作地帯における農業展開と部落構造」『北海道農業』No9、pp.164-186
6. 飯島源次郎・太田原高昭・坂下明彦・渡辺克司・植田薫子「農協合併と『新総合農協』」『協同組合奨励研究報告』第16輯、1990、pp.1-47
7. 坂下明彦「規模拡大の地域差と現在の土地問題」『北海道農業』No12、1990、pp.4-12
8. 坂下明彦「水利組織と土地利用」『北海道農業』No13、1990、pp.18-38
9. 坂下明彦「石狩川下流域の農業構造問題と打開の方向」『北海道農業』No14、1991、pp.1-38
10. 坂下明彦「『白書』が示す北海道農業とその現実」『農業と経済』(別冊平成4年度農業白書の徹底分析)1993、pp.108-113
11. 坂下明彦「満州農業移民の営農実態と漢族・朝鮮族 - A氏「三股流物語-或る満州開拓団員の青春行伏記」を素材として - 」『日本の科学者』30巻10号、1995
12. 岩崎徹・坂下明彦・西村直樹「座談会:WTO体制下の北海道農業の現状と論点」『日本の農業』208号、1999、pp.1-75、
13. 坂下明彦「日本の北海道における農協生産部会の役割」『北海道農業』26号(第6回日韓シンポジウム特集) pp.105-111、2000
14. 坂下明彦「根室地域における農地移動の地域的性格」『北海道農業』No27、2001、pp.23-34
15. 坂下明彦・朴紅・板橋衛・大友康博・中谷隆・小山良太・小林国治・菅沼弘生・山内哲人・宮入隆・糸山健介・林芙俊「農協の生産・営農指導事業の収益化方策に関する研究」『協同組合奨励研究報告』第27輯、家の光出版、2001、pp.9-222
16. 坂下明彦「農用地開発適地の変遷と草地利用」(第3章) 坂下明彦「西土幌地区」(第4章6)『北海道における農用地開発事業の展開と評価』北海道開発協会、2002
17. 吉野宜彦・朴紅・坂下明彦「ヘッジの丘を歩く - 2003年2月イングランド・デボン酪農調査日記」『北海道農業』30号、pp.61-107、2003
18. 坂下明彦「農業地帯別にみた稲作農家の性格」『韓国農業の展開と戦略』(行政対応特別研究(FTA・WTOプロジェクト)研究資料 第2号)農林水産政策研究所、2006
19. 坂下明彦「ホクレンの事業構造野段階的变化と園芸事業における企画提案型販売」『JC総研「系統経済事業研究会」報告』JC総研、2016.3

## - 3 . 書評(コメンテーター)

1. 書評 白井晋・三島徳三編著『米流通・管理制度の比較研究 - 韓国・タイ・日本』北海道大学図書刊行会、1994『農業市場研究』第3巻第2号、1995
2. 書評 Z. A. メドヴェージェフ著、佐々木洋訳『ソヴィエト農業 1917-1991—集団化と農工複合の帰結』『農林水産図書資料月報』1996
3. 書評 長谷部正編著『農協経営の計量分析』農林統計協会、1997年、『東北農業経済研究』16巻2号、1997
4. 書評 厳善平著『中国農村・農業経済の転換』勁草書房、1997年、『農業経済研究』71巻1号、1999
5. ブックガイド 深川博史『市場開放下の韓国農業 - 農地問題と環境農業への取り組み - 』九州大学出版会、2002年「農業と経済」2003年2月号

- 6 . 市史を読む 通史 (産業・経済) 『札幌の歴史』1998.1
- 7 . 市史を読む 通史 (産業・経済) 『札幌の歴史』2003.4
- 8 . ブックガイド 増田佳昭著 『規制改革時代のJA 戦略-農協批判を越えて』 『農業と経済』74 巻2号、p.106、2008
- 9 . 書評 小林一穂・劉文静・秦慶武 『中国農村の共同組織』御茶の水書房、『村落社会研究ジャーナル』17 巻1号、pp.44-45、2010
- 10 . Book レビュー 増田佳昭編 『大転換期の総合JA 多様性の時代における制度的課題と戦略』 『地域農業と農協』第41 巻第3号、2011年12月
- 11 . 書評 柳京熙ほか編著 『新自由主義経済下の韓国農協』協同組合経営研究誌 『にじ』2012年 夏号 No.638、pp.196-199
- 12 . 書評 神田健策・大島一二編著 『中国農業の市場化と農村合作社の展開』 『農業協同組合新聞』2013年5月20日号
- 13 . 「新食料法をめぐる諸問題：1997 年度大会討論会報告」 『農業経済研究』69 巻2号、pp.119-120、1997
- 14 . 「1999 年度シンポジウム アジアの中の日本(2) 水利組織と農村社会」コメント2 『農業史研究』34号、pp.35-36、2000
- 15 . The 6<sup>th</sup> International Conference on Agricultural history, Agricultural Modernization and Economic Development in East Asia, September 21 ~ 23, 2006, Rural Development Administration, Suwon, Republic of Korea
- 16 . International Symposium on "Rural Development-New Village Movement and International Cooperation" supported by the Kangwon Province and Korea Rural Economic Institute(KREI) , November 23, 2006,AT Center, Soeul, Korea

## ・招待講演・プロシーディング

### - 1 . 招待講演 (座長解題)

- 1 . 座長改題「アジアの協同組合の現段階 - その特質、役割、展望 - 」(日本協同組合学会第 24 回春季研究大会シンポジウム 2005 年 5 月)『協同組合研究』24 巻 3 号、2006
- 2 . 座長まとめ「経済グローバル化と農業 - 東アジア経済圏連携の可能性」(日本農業経済学会 2007 年度大会)
- 3 . 座長改題 日本協同組合学会第 29 回大会地域シンポジウム「」2009.9、『協同組合研究』
- 4 . 坂下明彦「日本における農協事業の総合性と専門性」中国農業経済学会 2006 年度 (2006.11.20)
- 5 . 坂下明彦「北東アジア農業の展開方向と中国東北農業の展望 - 日本の内国植民地 北海道の視点から - 」第 1 回東北アジア地域協力発展国際フォーラム (2008.6.12)
- 6 . 坂下明彦「原料農産物基地から地域ブランド形成へ - 北海道と黒竜江省」第二回東北アジア地域協力発展国際フォーラム (2009.6.14)
- 7 . 坂下明彦「農村地域開発による地域ブランド形成 - 農村からの「食の安心」発信」第 3 回東北アジア区域協力発展国際フォーラム 2010.6.14
- 8 . 坂下明彦「東アジアにおける総合農協の役割と中国東北での発展方向」第 4 回東北アジア区域協力発展国際フォーラム 2011.6.14

### - 2 . プロシーディング

- 1 . 朴紅・坂下明彦「關於中国東北農村不同類型村落的農業經營个体化与承包地調整的比較研究」郭翔宇他主編『中国農民与農村經濟發展』中国農業出版社、1996、pp.244-248 (中国語)
- 2 . 坂下明彦「韓国都市近郊農村の構造変動」『第 3 回日韓農業シンポジウム報告集』(『北海道農業』No.22) 1997、pp.192-195 (韓国語)
- 3 . 坂下明彦「日本における農協生産部会の機能」『第 6 回日韓農業シンポジウム報告集』、1999、pp.35-42、韓国春川市 (韓国語)
- 4 . 坂下明彦「日本農協的組織、機能及其運営」『農業經濟問題』2000 年第 9 期、2000、pp.57-61 (中国語)
- 5 . 坂下明彦・朴紅・郭力・笈志剛『交流与合作 - 農協問題講座/黒竜江与北海道 農業交流的視点』(日本国際交流基金平成 12 年度派遣日本研究教授課題)黒竜江省社会科学院東北亜研究所、2001、pp.1-229 (中国語)
- 6 . 坂下明彦「北海道における農産物の集出荷体制と農協の役割 - 野菜を対象として」『第 20 回日中韓国際シンポジウム報告集』2013、pp.161-196、韓国春川市 (日中韓語)

## 報告書

1. 『都市近郊水田農業の構造問題と発展方向(東旭川農協)』叢書No 1、北海道地域農業研究所、1991
2. 『広域合併農協における営農指導体制(とうや湖農協)』叢書No 2、北海道地域農業研究所、1991
3. 『旧開・高生産力地帯における個別営農展開の軌跡と地域農業振興の課題(栗山町)』叢書No 4、北海道地域農業研究所、1992
4. 『野菜産地形成と生産・生活複合化農業の可能性(厚沢部町)』叢書No 5、北海道地域農業研究所、1992
5. 『北海道における農協の規模・事業展開方式に関する調査研究』叢書No7、北海道地域農業研究所、1992
6. 『軽種馬地帯における地域農業の課題(ひだか東農協)』叢書No10、北海道地域農業研究所、1993
7. 『旧開稲作地帯における野菜産地化の課題(前田農協)』叢書No11、北海道地域農業研究所、1993
8. 『追分町農業振興方策の課題(追分町)』叢書No17、北海道地域農業研究所、1994
9. 『UR合意以降の農家動向と農地流動化対策』北海道地域農業研究所、1995
10. 『農地の流動化と利用集積の促進対策調査報告書』北海道地域農業研究所、1995
11. 『低コスト・放牧型酪農の可能性(豊富町)』叢書No23、北海道地域農業研究所、1995
12. 『北海道農業の中山間問題』北海道地域農業研究所、1996
13. 『農地の流動化と利用集積促進対策調査報告書』北海道地域農業研究所、1996
14. 『農協の大型合併に伴う経済事業展開に関する調査 中間報告書』北海道地域農業研究所、1997
15. 『北海道農業の中山間問題 2』北海道地域農業研究所、1997
16. 『北海道における中小規模集約酪農の進路(八雲町農協)』叢書No29、北海道地域農業研究所、1997
17. 『十勝大規模経営の到達点と課題(更別農協)』叢書No30、北海道地域農業研究所、1997
18. 『農協の大型合併に伴う経済事業展開に関する調査報告書』北海道地域農業研究所、1998
19. 『北海道農業の中山間問題 3』北海道地域農業研究所、1998
20. 『東川町全農業者意向調査報告書』北海道地域農業研究所、1999
21. 『大型農協における経済事業展開に関する調査報告書』北海道地域農業研究所、2000
22. 『大規模草地型酪農に関する調査業務報告書』北海道地域農業研究所、2000
23. 『地域農業振興計画の実践と課題 - 北海道地域農業研究所「共同研究」10年の軌跡』北海道地域農業研究所、2000
24. 『十年の歩み(10周年記念誌)』北海道地域農業研究所、2000
25. 『根室酪農の展開過程と今後の展望』(叢書No34、北海道地域農業研究所、2001
26. 『北海道における農業生産法人の動向と展開方向』北海道地域農業研究所、2002
27. 『北海道における農協事業方式の地域性と経済事業収益化の課題』叢書No36、北海道地域農業研究所、2002
28. 『北海道における農協事業方式の地域性と経済事業収益化の課題(事例編)』北海道地域農業研究所、2002
29. 『農協組合員意向調査報告書(21世紀北海道の農協事業運営体制の再構築に関する調査(1))』北海道地域農業研究所、2003
30. 『農協意向調査報告書(21世紀北海道の農協事業運営体制の再構築に関する調査(2))』北海道地域農業研究所、2003
31. 『農協改革への提言 - 北海道の内なる改革をめざして(21世紀北海道の農協事業運営体制の再構築に関する調査(3))』北海道地域農業研究所、2005
32. 『空知農業の現状とその課題に係る調査研究[中間報告書]』北海道地域農業研究所、2006
33. 『系統外金融機関の農業金融参入動向に関する調査』北海道地域農業研究所、2007
34. 『農協における地域農業支援体制の構築と実践 - 農協営農支援事業の広域的展開に伴う課題の抽出と改善方策に関する提言 - 』北海道地域農業研究所、2007
35. 『北海道における農業生産法人と農協 - 地域農業との連携の視点から 拠点型法人化 - 』北海道地域農業研究所、2007
36. 『空知農業・農協運営の現状と課題』北海道地域農業研究所、2007
37. 『流通チャネル化に対応した産地・生産部会の活動 - 産地形成のための農協と生産部会の関係、機能分担のあり方 - 』北海道地域農業研究所、2008

38. 『北海道における担い手育成の組織対応 - 担い手育成に対する新たな教育システム等に関する調査研究 - 』北海道地域農業研究所、2008
39. 『食農教育の展開と直販施設等からの発信 - 地元密着型の「食と農」に対する意識啓発の展開 - 』北海道地域農業研究所、2009
40. 『グリーン・ツーリズムの経済効果と類型把握 - 地域経済活性化策としての産業観光の創出(1) - 』北海道地域農業研究所、2009
41. 『北海道の農業金融の課題と法人問題』北海道地域農業研究所、2009
42. 『北海道の農業生産法人と金融問題』北海道地域農業研究所、2010
43. 『北海道における農村福祉問題の構図と農村福祉活動の展望』北海道地域農業研究所、2011
44. 『北海道の農業生産法人と金融問題Ⅱ』北海道地域農業研究所、2012
45. 『JA の職員教育に関する調査報告 』北海道農協学校・北農中央会、2012
46. 『農協の独占禁止法適用除外の見直しをめぐる論点』北海道地域農業研究所、2012
47. 『JA の職員教育に関する調査報告 』北海道農協学校・北農中央会、2013
48. 『北海道における農協経済事業の歴史的展開と今日的課題(独占禁止法適用除外問題)』北海道地域農業研究所、2013
49. 『JA 組合員学習活動に関する調査報告』北海道農協学校・北農中央会、2014
50. 『西日本先進地における農協生活関連事業の多面的展開』北海道地域農業研究所、2015
51. 『地方創生における農協・自治体の役割 - 西日本の先進事例から - 』北海道地域農業研究所、2016
52. 『農協改革と准組合員問題 - 准組合員利用規制導入を仮定した JA 共済事業への影響予測-』北海道地域農業研究所、2016
53. 『北海道における農村生活の変容と農協生活インフラ形成の意義』北海道地域農業研究所、2020

## ・雑誌論文など

1. 坂下明彦「稲作中核地帯における共同化の模索 - 農事組合法人大和農場をたずねて - (生産組織 12 態 その 7)」『北方農業』1978.7
2. 坂下明彦「越冬キャベツに活路を拓く - 和寒町野菜組合の事例 - (我らフロンティア その6)」『北方農業』1979.6
3. 坂下明彦「先駆的な土功組合による造田化と蜜居制のむら - 岩見沢市・旧川向地区の事例 - (シリーズ むらと集落はどう変わったか)」『農家の友』1979.8
4. 坂下明彦「道外移出に取り組む十勝の”畑作的野菜産地” - 幕別町札内の「チロツ大根」との取組み - (シリーズ新産地めぐり 10)」『農家の友』1981.1
5. 坂下明彦「マイペースで築いた移出野菜産地 - 名寄市を中心とする道北青果団地の取組み (シリーズ新産地めぐり 12)」『農家の友』1981.3
6. 坂下明彦「深川市第五巴地区における水田転作とリーダーシップ (特集 期待される農村リーダー)」『北方農業』1982.8
7. 坂下明彦「「やさい村」へ - 複合化をめざす東旭川の若手リーダー 小檜山義幸さん - (明日を担う後継者達 (10))」『北方農業』1983.9
8. 坂下明彦「農協系統組織再編の答申とその背景」『北方農業』1991.4
9. 坂下明彦「系統組織再編と北海道の農協の進路」『ニューカントリー』1992.11
10. 坂下明彦「『白書』の示す北海道農業とその現実」『農業と経済』別冊、1993.4
11. 坂下明彦「北海道の農協合併 - 阻むものと目指すもの - 」『ニューカントリー』1993.5
12. 坂下明彦「いま、農協労働者・労働組合に求められること」『労農のなかま』1995.1
13. 坂下明彦「揺れにゆれる北海道の稲作と米」『農村と都市をむすぶ』1996.3
14. 坂下明彦「なにが「農協離れ」を促進するのか？」『デーリーマン』1996.5
15. 坂下明彦「北海道の農協連合会改革と共通役員制の出発」『ニューカントリー』1996.7
16. 坂下明彦「稲作の生産調整と農業構造変化 - 北海道の減反再強化の影響」『農業と経済』1997.3
17. 坂下明彦「進む北海道の離農の背景」『農協新聞』1997.6
18. 坂下明彦「北海道における大規模水田農業の動向」『北方農業』52 巻 12 号、pp11-14、2002
19. 坂下明彦「農協合併と連合会統合の行方」『ニューカントリー』2003.1
20. 坂下明彦「巻頭言 中国農業の振幅と組織化」『農業と経済』70 巻 14 号、2004、p.3
21. 坂下明彦「北海道における農協改革の視点」『地域と農業』53 号、pp.25-32、2004
22. 坂下明彦「農協批判の本質を考え改革のあり方を探る」『農業協同組合新聞』2005.10.15
23. 坂下明彦「食と農を結ぶための組織・事業基盤強化を」『農業協同組合新聞』2006.10.10
24. 坂下明彦「農協事業に見直し迫る直接支払いへの転換 - 求められる営農相談強化と地域農業支援システムの形成」『ニューカントリー』2006.9
25. 坂下明彦「府県とは対照的に、組織より事業優先・機能重視の合併 - 北海道における農協合併の特質 (合併協の挑戦 連載 29)」『ニューカントリー』2007.1
26. 坂下明彦「広域合併 JA と連合会の役割」『日刊北海協同組合通信』2007.1.1、pp.14-17
27. 坂下明彦「地域金融機関の地域密着型金融の展開と農業部門への参入」『ニューカントリー』2008.4
28. 坂下明彦「北の3大学連携」『ニューカントリー』2009.4
29. 坂下明彦「農業の持続的発展と地域活性化の可能性」シンポジウム「農業から地域活性化を考える」講演録、2009.11.20、旭川市民文化会館
30. 坂下明彦「拠点型農村サテライトのネットワーク形成による北海道の地域ブランドづくり」『地域農業と農協』農業開発研修センター、第 39 巻第 1 号、2009.11
31. 坂下明彦「北海道独自の政策立案能力の強化を！ - 北海道農協大会にむけて - 」『ニューカントリー』2009.12
32. 坂下明彦「地域システムを生かす政策提言を - 米戸別所得補償で変わる地域農業 - 」『ニューカントリー』2010.3

33. 坂下明彦「農協を核とした北海道独自の政策立案能力強化」北海道地域農業研究所 20 周年記念誌『北海道農業の軌跡とともに』2010
34. 坂下明彦「硬派の地域ブランド研究」『農中総研情報』2010.11
35. 坂下明彦「あらためて農村サテライトのレーゾンデートルを考える」『ニューカントリー』2011. 3
36. 坂下明彦「グリーンツーリズムと距離 - 北海道の特殊性 - 」『ニューカントリー』2011. 4
37. 坂下明彦「タジキスタンでの農協づくり」(1)(2)(3)『ニューカントリー』2011. 9 ~ 11
38. 坂下明彦「栗山農業の特徴と農業ルネッサンスの発展」『第3期 栗山農業ルネッサンス』栗山町農業振興公社、2012
39. 坂下明彦「北海道水田農業の地域性と農協の地域対策」『ニューカントリー』2012. 3
40. 坂下明彦「改めて農協の役割と組合員の組織活動を考える」『農家の友』2012. 7
41. 坂下明彦「安心の「創生」にむけて」(連載「安心の再生」最終回)『ニューカントリー』2013. 3
42. 坂下明彦「大学と地域とジャーナリストが一体となって」『北海道農業ジャーナリストの会 設立 40 周年記念誌』2013.5
43. 坂下明彦「3冊の本」『岩船修さんとの楽しい思い出を語る』2013.6
44. 坂下明彦「北海道における農村開発の過去と未来」『開発こうほう』2013. 7
45. 朴紅・坂下明彦「中国のたまねぎ生産と産地構造」(1)(2)(3)『地域と農業』Vol.91・92・93、2013・14
46. 坂下明彦「成長戦略下の農協改革論議と系統の対応」『デーリーマン』2014 年 5 月号
47. 坂下明彦「意図された外圧 - 中曽根内閣に始まる信自由主義的攻撃が安倍内閣で極度に強まる」『ニューカントリー』2014.11 (連載「農協 - 内なる改革に向けて」)
48. 坂下明彦「信用核とした総合事業に有効性 - 専門農協への組織再編促す議論は歴史的展開を無視」『ニューカントリー』2014.12 (連載)
49. 坂下明彦「北海道では多様に進化 - 90 年ころから財務構造が健全化 生産部会、地域農業支援システムも発達」『ニューカントリー』2015.1 (連載)
50. 坂下明彦「機能の全面発揮促す韓国と台湾 - 東アジアと大きく乖離する規制改革会議が示した方向」『ニューカントリー』2015.2 (連載)
51. 坂下明彦「営農指導に意欲的なプラン提示 - 生産連的機能の復活を目指す試みとして期待」『ニューカントリー』2015.3 (連載)
52. 坂下明彦「全国移出体制構築したホクレン - 独自路線貫き、事業の拡大と改革を推進」『ニューカントリー』2015.4 (連載)
53. 坂下明彦「拡充するホクレン園芸事業 - 企画提案型販売に着手。「よくねた」シリーズは 6 億円に」『ニューカントリー』2015.5 (連載)
54. 坂下明彦「農業所得増大は農協の目的か - 所得うむのは農家、収益向上図るのが本分」『ニューカントリー』2015.6 (連載)
55. 坂下明彦「誰が今の農協をつくったのか - 金融改革の一貫で国が進めた合併と中央会強化」『ニューカントリー』2015.7 (連載)
56. 坂下明彦「農協は事業者か事業者団体か - 独禁法の厳格適用へ、改正案で事業者と規定 - 」『ニューカントリー』2015.8 (連載)
57. 坂下明彦「クミカンこそ地域密着型金融 営農指導との一体性保ち運用高度化図るべき」『ニューカントリー』2015.9 (連載)
58. 坂下明彦「北海道の准組合員分布は多様 正組合員からの移行割合はさほど高くない」『ニューカントリー』2015.10 (連載)
59. 坂下明彦「農業所得の増大に農協は貢献しなければならないのか」『農業と経済』2015.11、pp.37-43
60. 坂下明彦「金融部門で高まる准組合員利用 - 収益性から廃止や転換進んだ生活店舗は位置づけ低下」『ニューカントリー』2016.2 (連載)
61. 坂下明彦「協同組合員は人口の半分占める - 地域に根差した事業体制捨てる必要なし」『ニューカントリー』2016.3 (連載)
62. 坂下明彦「栗山町 - 多様な農村活動の創造」『農林金融』2016.10
63. 坂下明彦「キルギスで Hoykëy (のうきょう) をつくる」『地域農業と農協』46 巻 3 号、2016

64. 大森隆・坂下明彦「農業の企業化と農協の新たな機能 近代化とともに企業化進んだ採卵養鶏業」『ニューカントリー』2016.12 (連載「これからの協同組合の話しをしよう」8回)
65. 大森隆・坂下明彦「農業の企業化と農協の新たな機能 変わる鶏卵フードシステム 生産現場での企業寡占進む」『ニューカントリー』2017.1 (連載9回)
66. 大森隆・坂下明彦「農業の企業化と農協の新たな機能 採卵養鶏業のホクレン関与は安心・安全面で極めて重要」『ニューカントリー』2017.2 (連載10回)
67. 坂下明彦「現実を知らない性急な廃止論 クミカンが経営改善のために」『ニューカントリー』2017.2
68. 坂下明彦「営農指導を中核に据えて進化する北海道の総合農協」兵庫県中『協同』2017.2
69. 藤田久雄・坂下明彦「経済連存続の経済学 単協と一体的な事業強化で販売高維持する独立経済連」『ニューカントリー』2017.3 (連載11回)
70. 藤田久雄・坂下明彦「経済連存続の経済学 再編20年後も変わらない独立系経済連の優位性」『ニューカントリー』2017.4 (連載12回)
71. 坂下明彦「クミカン制度の現段階的意義」『地域と農業』vol.105、地域農業研究所、2017.4
72. 藤田久雄・坂下明彦「経済連存続の経済学 県域機能を最も発揮できる体制が独立系経済連」『ニューカントリー』2017.5 (連載13回)
73. 坂下明彦「マスコミはどう取り上げた「ガイヤの夜明け」番外編 その波紋 - 公取による阿寒農協への「注意」!」『ニューカントリー』2017.12 (連載20回)
74. 坂下明彦「農村の変化に合わせ1回り大きな営農・生活複合体制への移行を」『ニューカントリー』2019.1
75. 黄盛壹・坂下明彦「FTA に対抗する韓国の広域販売農協連の展開」『ニューカントリー』2019.1 (連載33回)
76. 黄盛壹・坂下明彦「FTA に対抗する韓国の広域販売農協連の展開」『ニューカントリー』2019.2 (連載34回)
77. 坂下明彦「農協の人口問題 - 農家戸数の減少著しいが3世代・親子世帯はまだ多く」『ニューカントリー』2019.3 (連載35回、最終回)
78. 坂下明彦「お付き合いのきっかけ - JICA 研修を機に現地支援「クミカン」導入した農協も - 」『ニューカントリー』2019.4 (連載 遊牧の国キルギスで農協をつくる、第1回)
79. 坂下明彦「遊牧の過去と現在の姿 - 山多く、農地の8割が放牧地 春~秋は群れて預け集団放牧」『ニューカントリー』2019.6 (第3回)
80. 坂下明彦「平成の北海道農業を振り返る 農協 販売事業を中心に前進 広域合併進み農協数半減、農家戸数減も影響」『ニューカントリー』2019.6
81. 坂下明彦「みらいプロジェクト」『農業と経済』(東西南北)2019.7・8
82. 坂下明彦「店舗存続に向け直営店化や異業態連携進める - 道内 A コープチェーンの動向と多面的展開」『ニューカントリー』2019.9
83. 坂下明彦「コルホーズの設立と解体」『ニューカントリー』2019.12 (第9回)
84. 坂下明彦・星野愛花里「その形と進化の方向 農事組合法人型と専門農協型の発展に期待」(連載 遊牧の国キルギスで農協をつくる、第14回、最終回)『ニューカントリー』2020.5
85. 坂下明彦「土地を『囲い込む』こと - 農耕と牧畜のせめぎあい - 」『札幌農学同窓会報』2020.6
- \* . 坂下明彦「斎藤理論と北海道の農協」『農業と経済』(東西南北)2020.7・8